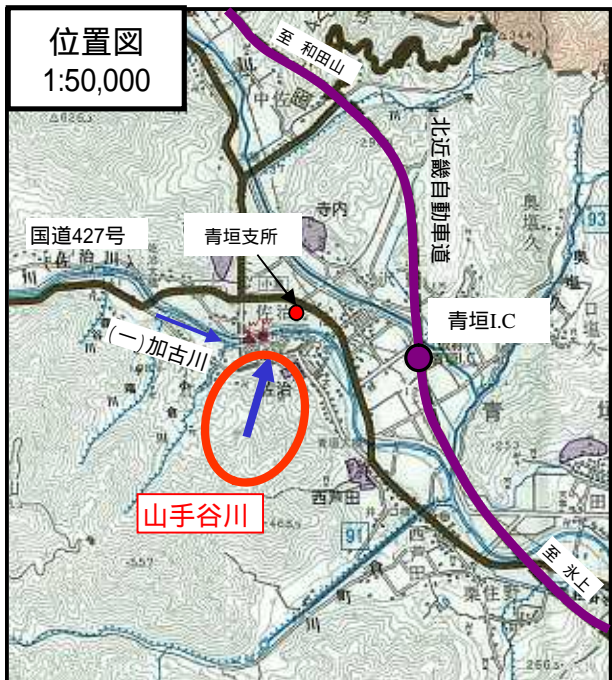
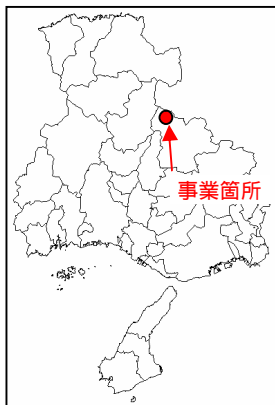


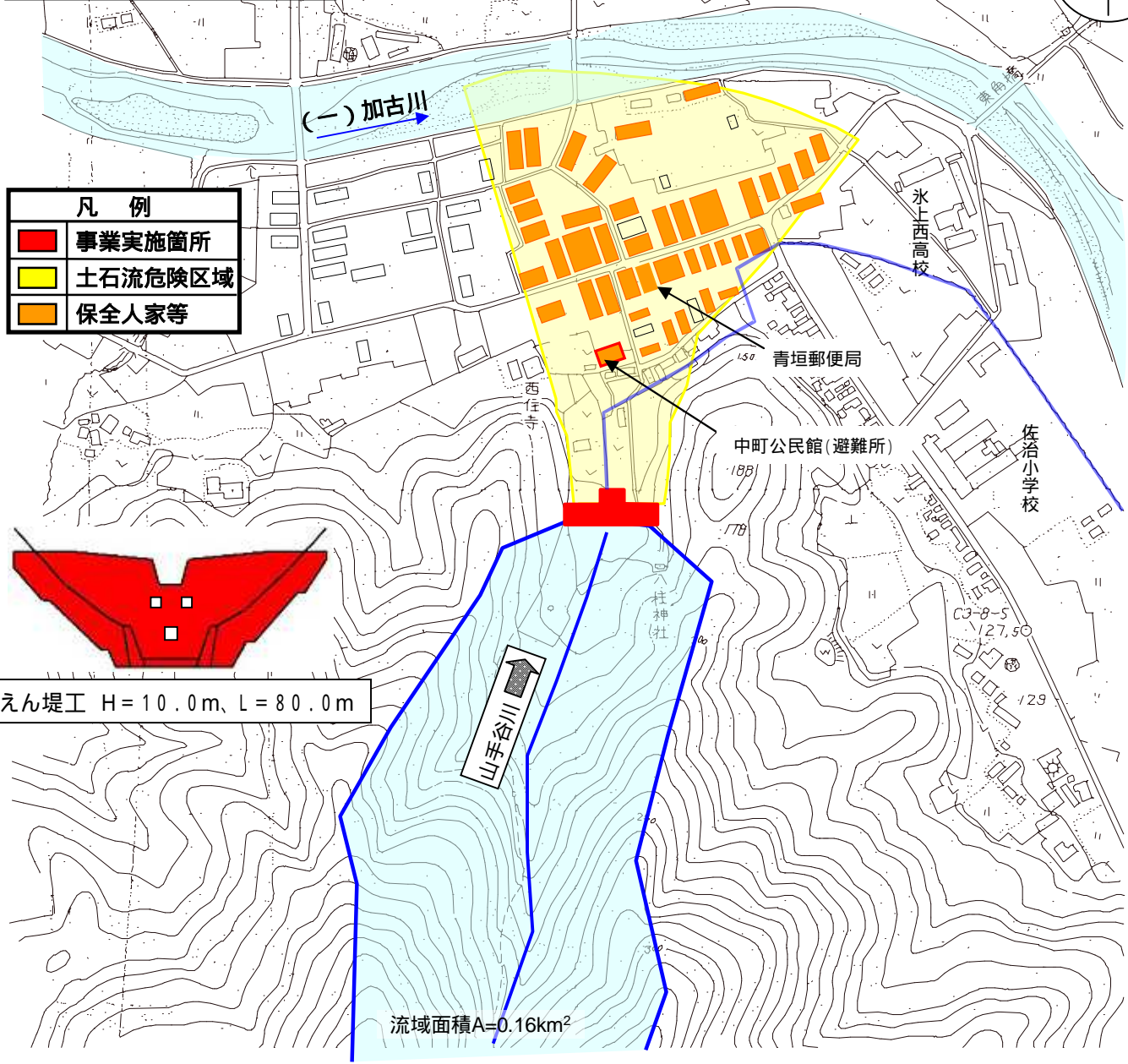
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.8億円
		通常砂防事業 やまてたに 山手谷川	丹波市青垣町 まじ 佐治	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
丹波市青垣町佐治				H22	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H=10.0m, L=80.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)加古川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により土砂流出が発生しており、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に人家が集中し、溪床には土砂が厚く堆積していることから、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ300m、最大幅280m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家40戸、(一)加古川、市道(約400m)、公民館(避難所)、郵便局</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成18年度には土砂災害警戒区域を指定済みであり、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・事業用地についての同意が得られたことから、円滑な事業執行環境が整った。				
(3)環境適合性	・工事に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・近年の降雨により土砂流出が発生しており、保全人家等も多いことから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

やまてたにがわ
山手谷川
[丹波市]



計画概略図
縮尺 1:5,000



凡例	
■	事業実施箇所
■	土石流危険区域
■	保全人家等

えん堤工 H=10.0m、L=80.0m

流域面積A=0.16km²

